

## 6-7 月二大模試にみる受験生の志望動向

以下は森上教育研究所 森上展安が四谷大塚、サピックスの模試を独自に分析した結果です。

### ■男子■

#### 【2月1日】

いわゆる御三家など最上位校は前年同様か増加の傾向。特に麻布は今春の反動で増加の勢い。ただ、駒東のみ緩和傾向がみえる。早実、早高院、慶応普通部の早慶付属校は来春も増加の傾向。昨年東大実績大幅増の渋渋は大きく増加か。男子上位校では、巣鴨、攻玉社が緩和傾向が継続。一方、桐朋、本郷が堅調。神奈川の逗子開成は今春の反動で増加。サレジオも堅調。

#### 【2月2日】

神奈川トップ2校は堅調。男子中堅の城北、世田谷、とりわけ世田谷が今春の反動で増加。学習院は緩和傾向。付属の青山、立教池袋、明中はやはり増加基調。中堅男子の都市大付、高輪は堅調。

#### 【2月3日】

男子の浅野、早稲田2回、暁星いずれも増加傾向が鮮明。共学付属の慶應中等部も増加傾向。筑駒、海城は堅調。

### ■女子■

#### 【2月1日】

いわゆる女子御三家とフェリスは増加傾向。とりわけ雙葉は今春反動で増加が鮮明。鷗友堅調、吉祥女子は難化で緩和。洗足は堅調。横浜雙葉は緩和傾向。上位校の頌栄、東洋英和、学習院女子は堅調。特に今春の反動で学習院女子は増加傾向。

#### 【2月2日】

豊島岡女子が緩和基調。吉祥女子は今春並みの高人気。一方洗足は今春の反動で緩和傾向。白百合は今春の反動で人気復調。共学付属の慶應湘南藤沢、青山学院、いずれも高人気継続で増加傾向。大妻はやや緩和。共立はやや増加傾向。鎌倉女学院は堅調。

#### 【2月3日】

慶應中等部は堅調、横浜共立Bも堅調。日本女子大付属も堅調、晃華2回が緩和。

### ■共学■

#### 【2月1日】

付属の中大横浜、法政、中大付はいずれも増加傾向。広尾も増加基調。

#### 【2月2日】

渋渋は増加基調、明大明治は堅調。神奈川大付は増加傾向。

以上難関、上位、中堅の男子女子のいずれも堅調、もしくは増加傾向で、付属は今春と同じく人気が続く。やや男子上位校の一部で人気薄の様子もみえるが回復しているところが多い。